

第2回 RESAS アプリコンテストの実施について

平成29年9月15日

内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局

内閣府 地方創生推進室

「地域経済分析システム(RESAS:リーサス)」を活用した地域経済の分析や地域の魅力発掘に役に立つアプリケーションを募集するコンテストを実施します。

「地域経済分析システム(RESAS:リーサス)」に搭載されている公的データについて機械判読可能で、加工しやすい形式で取得できる RESAS-API 機能(※)を現在提供しております。

この度、RESAS-API のデータを用いて制作されたアプリケーションおよび、RESAS を用いて分析した結果及び独自データを用いて制作されたアプリケーションを募集するコンテストを実施します。

(※API: Application Programming Interface)

1. 募集するアプリケーション

地域経済の分析や地域の魅力発掘に役に立つ以下のいずれかのアプリケーションを募集します。

- (1) RESAS-API を使用し制作されたアプリケーション
- (2) RESAS を用いて実施した分析結果及び独自のデータを用いて制作されたアプリケーション
(例: IoT のセンサーデータ、市町村や観光協会などが収集した地域データ等)

2. 審査基準

- ・独創性:他に前例のない独創的なアイデアのアプリケーション
- ・完成度:商品化、サービス化できるレベルに仕上がっているアプリケーション
- ・デザイン性:デザインが優れているアプリケーション
- ・地域活性化度:地域の魅力発見や活性化につながるアプリケーション

3. スケジュールと表彰

- ①応募期間
平成29年10月20日(金)～平成29年12月20日(水)
- ②第一次審査(審査委員による応募書類・動画による審査)
平成29年12月21日(木)～平成29年1月中旬
- ③最終審査会(第一次審査を通過した10組によるプレゼンテーション審査)
平成30年1月27日(土) 午後
場所:ベルサール六本木コンファレンスセンター
- ④表彰
最終審査会により、最優秀賞1組、優秀賞1組を選出

4. 応募方法

募集サイトに設置する応募フォームから応募する。

【第2回 RESAS アプリコンテストサイト】

<https://opendata.resas-portal.go.jp/contest2nd/index.html>

5. RESAS ハッカソン開催について

第2回 RESAS アプリコンテストに応募するアプリケーション制作を参加者同士で行う場として RESAS ハッカソン(※)を全国10拠点で開催します。

ハッカソンの詳細については以下情報サイトをご覧ください。

(※ハッカソン:プランナーやプログラマー、デザイナー等が複数のチームを形成しマラソンのように短期間でアプリケーション制作を競う開発イベント)

【RESAS ハッカソンサイト】

<https://opendata.resas-portal.go.jp/contest2nd/hackathon/index.html>

以上

【お問い合わせ先】

内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局(ビッグデータチーム)

担当 伊藤、中尾、楠田

電話 03-3581-4541

昨年度受賞作品のご紹介

過去のコンテストの作品の中には、一般公開された事例も出てきております。

ORESAS アプリコンテスト 最優秀賞

作品名 : RESASxオープンデータ~ひなた GIS で照らす故郷の未来~

チーム名 : 宮崎県情報政策課

作品概要 : 宮崎県庁内で公開した地域のオープンデータを見える化した地理情報システム

公開サイト : <https://hgis.pref.miyazaki.lg.jp/hinata/>

ORESAS アプリコンテスト 法人インフォメーション賞

作品名 : えっ、そこまでわかるの！？企業のつながりオープンデータ
活用基盤:LOD4ALL

チーム名 : LOD4ALL(富士通株式会社)

作品概要 : 法人インフォメーションと RESAS-API のデータを組み合わせた企業活動分析ダッシュボード。地域の経済状況や企業の活動状況などを可視化するアプリケーション

公開サイト : <http://pr.fujitsu.com/jp/news/2017/06/15-1.html>